

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立総合工科高等学校

全日制課程

1 計画の概要

本校は、機械・自動車科、電気・情報デザイン科、建築・都市工学科の3学科からなる専門高校である。各学科において、ものづくりを通じた教育を実践している。普段はなかなか目にすることの少ない施設・設備を使用し、各学科の特色ある講座を開講して小・中学生に実際に体験をしてもらう中で、ものづくりの楽しさを味わわせ、ものづくりに対する興味・関心をもたせることで、将来のものづくり人材を育成につなげることを第一の目標としている。また、高校生と小・中学生が部活動を通して交流する中で、地域とのつながりや思いやりの心を育てていくことを第二の目標としている。内容としては、体験入学、体験入部に分けて、全都の小・中学生から希望者を募り実施している。

2 実施内容

体験入学

- ・機械・自動車科：レーザー子で栓抜きを作ろう。
- ・電気・情報デザイン科：
 - ①マイコン搭載赤外線走行カーを作ろう。
 - ②3Dアートを体験しよう。
- ・建築・都市工学科：建築CADを体験しよう。

の4講座を開講し、実際に機械操作を行い各学科の授業内容を理解しながらことで、ものづくりの楽しさを体験してもらった。全都の小・中学生を対象に参加を募った。



体験入部

バスケットボール部・パソコンロボット部などで、全都の中学生から希望者を募り実施した。本校生徒との交流をしたり、本校教員から直接指導を受けたりしながら、各部活動の内容を体験した。

3 成果と課題等

【成果】

ものづくりの楽しさを体験させることができた。参加した小・中学生からは好評であった。

中学生にとっては、進学先を選択する際の材料として、部活動にも大きなウエイトがある。その意味で、工業高校ならではの部活動に体験希望が多かったことはよかった。

【課題】

各講座とも施設・設備・スタッフ・予算の関係で、定員を設けているため、抽選とせざるを得なかった。

また、ロボットの製作には、費用面での負担が大きい。



